

2010年7月2日

三菱重工、がん細胞を追尾する放射線治療装置

三菱重工業は、肺がんなど患者が呼吸した際に微妙に位置が変わるがんを追尾し、病巣だけを連続照射できる機能を加えた放射線治療装置「MHI—TM2000」を発売した。体内のがん細胞に正確に放射線を当てることができ、周辺の正常細胞への影響を最小限に抑えられるという。年間5～6台の販売を目指す。

「動体追尾照射」と名付けた機能を搭載するとともに、同機能を利用できるソフトを加えた。既に従来装置の「MHI—TM2000」を導入している場合はソフトを追加する作業だけで、新装置と同様に追尾照射機能を使える。

＝日経産業新聞＝